

「生命科学・医学系研究に関する情報公開文書」

研究機関名：東北医科薬科大学

受付番号	2025-2-073-0000
倫理審査（初回審査）	2025 年 11 月 17 日
研究課題名	月経随伴性気胸の臨床病態に関する後方視的調査研究 —第 2 次追加研究—
研究の対象	2023 年 8 月 1 日～2025 年 11 月 12 日までに東北医科薬科大学病院 産婦人科および東北医科薬科大学若林病院産婦人科において月経随伴性 気胸の診断で管理が行われている方
研究の概要 （試料・情報の利用目 的及び利用方法）	<p>【研究目的】</p> <p>この研究の目的は、月経随伴性気胸の臨床病理学的実態および有効な再 発抑制のための管理に関する情報を得ることです。</p> <p>【研究の方法】</p> <p>月経随伴性気胸の診断で管理が行われている方の診療録情報を解析しま す。</p> <p>【個人情報の保護】</p> <p>試料・情報は解析する前に、氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識 別できる記述を削除し代わりに研究用の番号を付け、どなたのものか分 からないようにします。また、この研究で取得した患者さんの治療に関 する情報は、論文等の発表から 10 年間は保管され、その後は患者さん を識別する情報を復元不可能な状態にして破棄されます。また、患者さ んが本研究に関するデータ使用の取り止めを申出された際、申出の時点 で本研究に関わる情報は復元不可能な状態で破棄（データの削除、印刷 物はシュレッダー等で処理）いたします。</p>
研究期間及び 試料・情報の 利用開始予定日	2025 年 11 月 19 日 ～ 2026 年 3 月 31 日
調査データ該当期間	2023 年 8 月 1 日 ～ 2025 年 11 月 12 日
研究に用いる試料・ 情報の種類	1) 診断時年齢 2) 初経年齢 3) 月経周期 4) 妊娠歴 5) 分娩歴 6) 気胸発生側 7) 症状 8) 骨盤内内膜症の有無 9) 卵巣子宮内膜症性嚢胞の有無

	10) 診断時 CA125 値 11) 術前または薬剤治療前 CA125 値 12) 気胸手術の有無 13) 手術術式 14) 手術摘出組織の病理組織学的診断 15) 術前薬剤治療の有無 16) 術後薬剤治療の有無 17) 治療薬剤 18) 総薬剤治療期間 19) 薬剤有効性（症状の程度・有無） 20) 薬剤有効性（CA125 値の推移） 21) 薬剤有効性（MRI・CT・超音波所見） 22) 薬剤副作用の有無 23) 薬剤副作用の内容 24) 薬剤中止の有無 25) 薬剤中止理由 26) 再発の有無 27) 再発時期 28) 再発時症状 29) 再発診断法 30) 再発時 CA125 値 31) 再発時薬剤治療の有無 32) 治療経過中の薬剤変更の有無
情報の提供	（東北医科薬科大学若林病院の場合）上記情報を東北医科薬科大学病院に提供する。
研究組織	東北医科薬科大学 病院産婦人科 渡部 洋 若林病院産婦人科 渡辺 正
研究機関の長名	東北医科薬科大学 学長 大野 勲
お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の患者さんの個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としま</p>

	<p>せんで、下記の連絡先までお申出ください。なお、お申し出による不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報や試料に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。</p> <p>【照会先及び研究への利用を拒否する場合の連絡先】</p> <p>東北医科薬科大学病院 産婦人科 連絡先担当者・研究責任者：渡部 洋 〒983-8536 仙台市宮城野区福室 1-12-1 電話番号：022-259-1221(代)</p>
--	---

◆個人情報の利用目的の通知に関する問い合わせ先

保有個人情報の利用目的の通知に関するお問い合わせ先：上記「お問い合わせ先」

※注意事項

以下に該当する場合にはお応えできないことがあります。

＜個人情報保護法第21条＞

- ①利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、当該研究機関の権利又は正当な利益を害するおそれがある場合

◆個人情報の開示等に関する手続

当院が保有する個人情報のうち、本人の情報について、開示、訂正及び利用停止を請求することができます。

保有個人情報とは、当院の職員が職務上作成し、又は取得した個人情報です。診療情報に関する保有個人情報については、下記ホームページ「個人情報保護方針」をご覧ください。

- ・東北医科薬科大学病院

【東北医科薬科大学病院 個人情報、患者さんの権利】

https://www.hosp.tohoku-mpu.ac.jp/about/privacy_policy.html

個人情報保護相談窓口（医事グループ内）：022-259-1221

- ・東北医科薬科大学若林病院

【個人情報のお取扱い】

<https://www.hosp.tohoku-mpu.ac.jp/wakabayashi/about/privacy.html>

患者様相談窓口：022-236-5911

＜個人情報保護法第33条＞

- ①研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②研究機関の研究業務の適正な実施に著しい支障を及ぼすおそれがある場合
- ③法令に違反することとなる場合